



公益社団法人 日本ユネスコ協会連盟

活動指針

「戦争は人の心の中で生まれるものであるから、人の心の中に平和のとりでを築かなければならない」。(UNESCO憲章前文より)

日本ユネスコ協会連盟は、UNESCO憲章の理念に基づき、平和な社会をめざして活動するNGOです。

※ UNESCO(国際連合教育科学文化機関)は、第二次世界大戦が終わった1946年、人類が二度と悲惨な戦争を繰り返さないようにとの願いを込めて設立された国際連合の専門機関です。



団体の特徴

- 戦争直後の日本の国際社会への復帰は平和国家としてUNESCOに加盟することから、という目標をもった各地の活動から始まり、1948年に全国のユネスコ協会の連合体として設立されました。
- 現在、約280のユネスコ協会があり、地域から平和な社会をつくるため、様々な活動を行っています。

主な活動内容

- 世界寺子屋運動
学校に通えない子どもたちや、読み書きができない人々を支援します。
- 未来遺産運動
100年後の子どもたちへ、豊かな日本の文化や自然を伝えます。
- 世界遺産活動
世界遺産を守る活動を支援します。

ご寄附いただいた場合

◆寄附金は寄附金控除の対象になります。

- ・11月頃、寄附金の領収書を郵送します。
寄附金控除を受けるためには、確定申告の際に寄附金の領収書を添付してください。

◆活動内容を報告します。

- ・7月頃、活動レポートを郵送します。

◆その他

- ・ご寄附いただいた方へ感謝を込めて、感謝状を郵送します。

団体連絡先

公益社団法人 日本ユネスコ協会連盟

〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿1-3-1 朝日生命恵比寿ビル12階
TEL:03-5424-1121(平日 9:30~17:30) FAX:03-5424-1126
URL:https://www.unesco.or.jp

ご支援でできること

当商品を通じた寄附金は「世界寺子屋運動」の活動資金として活用します。

世界が抱える教育問題 ~読み書きができないと、夢や未来が描けない~



現在でも世界の15歳以上の6人に1人が、貧しさや紛争のため、教育を受けられないまま成長し、まったく文字の読み書きができません。1989年より、年齢や宗教、性別を問わず、すべての人びとが生活に必要な文字の読み書きや計算能力を身につけられる世界を目指した世界寺子屋運動は、皆さまのご支援を得て、これからも活動を続けてまいります。



世界寺子屋運動とは? ~きょういくで、あしたへいく~



世界寺子屋運動は貧しい地域に学びの場をつくり、読み書きや生活の技術を学ぶ教育を普及しています。現在は、アフガニスタン、カンボジア、ネパール、ミャンマーの4カ国で、子どもと大人の夢を育てています。

支えてくださって、ありがとう 寺子屋で学んだ人たちのメッセージ

バラン・サーさん(カンボジア 15歳)
小学校をやめて2年間キャッサパ畑で働いていた私には、また勉強ができる日がくるなんて想像もできませんでした。クメール語の授業が気に入っています。

ビビ・ガルさん(アフガニスタン 40歳)
昔は、字の読み書きができるようになるなんて難しいし、ほとんど不可能だと思っていました。でも、いまではそれほど難しくなかったと感じています。

タサリム・ニサさん(ネパール 13歳)
小学校クラスの先生は親切で、授業では英語やネパール語だけでなく、算数や公衆衛生も学びました。ネパール語と算数は、弟や妹に教えられるようになりました。

カンスウウィンさん(ミャンマー 16歳)
学校をやめて働くように親からいわれたとき、とても悲しい思いをしました。寺子屋のおかげで再び勉強できてうれしいです。

寺子屋が変えたこと②

~カンボジアの、水上寺子屋で~



寺子屋で学んだ
手工芸技術で、
収入が約2.5倍に

ホテイアオイを活用した手工芸品で、収入が今までの2.5倍になり、子どもたちを学校に通わせることができるようになりました。

